

11-5

現存天守12城の話題

松本城を訪れる全国各地の観光客の皆様は、お住まいの土地にある城や自分が行ったことのある城などと比較して松本城にのぼられます。天守担当の職員からは、城ごとの違いや特徴に関する質問が多いという声が聞かれます。今回は「天守が存在する12城」について質問いたしますので、「おもてなしの心」を高めるつもりでお答えください。

現存天守12城とは（石垣の天端から最上階の屋根の本棟までの高さ順でならべると）、
①姫路城・②松本城・③松江城・④伊予松山城・⑤高知城・⑥犬山城・⑦宇和島城・⑧彦根城・⑨丸亀城・⑩弘前城・⑪丸岡城・⑫備中松山城です。

さて、次の城の説明は①から⑫のうちどの城でしょう。番号を解答欄に入れなさい。

問題番号	説明	別名	写真	解答欄
1	天守建築年1611年（慶長16） 天守の高さ22.4m 望楼型天守・四重五階地下一階・複合式天守 ○松本藩主松平直政の移封先。天守一・二重目まで全面板張り、望楼部と付櫓下見板張り。堀尾吉晴 <small>よしはる</small> の築城と伝わる。	牛島城		
2	天守建築年1660年（万治3） 天守の高さ約14.4m 層塔型天守・三重三階・独立式天守 ○大手門から見ると高石垣 <small>たかいしがき</small> の上にそびえる。天守一重目は下見板張り。狭間は北側に六箇。平和な時代のシンボルとしての天守。	亀山城		
3	天守築城1642年（寛永19） 天守の高さ約20m 層塔型天守・三重三階地下一階・連立式 ○加藤嘉明 <small>よしから</small> が創建した五重の天守を松平定行 <small>さだゆき</small> が三重に改築。1784年落雷で焼失。現在の天守は1853年（嘉永5）に再建されたもの。近世山城の典型で、ロープウェーでのぼることが出来る。	煙草山城		
4	天守築城1665年（寛文5） 天守の高さ約15.7m 層塔型天守・三重三階 ○外郭の半分が豊後水道に面す海城で、独立式天守。藤堂高虎 <small>とうどうたかとら</small> 創建の天守を伊達宗利 <small>むねとし</small> が建て直した。	板島城 丸串城		

5	<p>天守築城1603年（慶長8） 天守の高さ約18.6m 望楼型天守・四重六階・独立式 ○1727年に焼失し、1747年に再建された。江戸中期の建物でありながらきわめて古い様式となっている。天守台が無く本丸から直接天守へ入ることができる。山内一豊が築城。</p>	大高坂城 鷹城		
6	<p>天守築城1610年（慶長15）頃 天守の高さ14.4m 層塔型・三重三階・独立式 ○最初に建てられた五重天守は1627年落雷で焼失。1810年に本丸南東隅にあった辰巳櫓を御三階櫓として改修した。公園は桜の名所として有名。</p>	高岡城		
7	<p>天守築城1576年（天正4）頃 天守の高さ12.5m 望楼型・二重三階・独立式 ○現存天守は1613（慶長18）頃本多成重により築造されたか、大改修を受けたと考えられている。昭和23年に地震で倒壊し、同30年再建。</p>	かすみ 霞ヶ城		
8	<p>天守築城1601年（慶長6）頃、 天守の高さ約18m 望楼型・三重四階地下一階・複合式天守 ○始め一・二階が造られ、その後、三・四階が増築された。1620年（元和6）には唐破風・廻り縁が取り付けられた。</p>	はくていじょう 白帝城		
9	<p>天守築城1606年（慶長11） 天守の高さ約15.5m 望楼型・三重三階・複合式天守 ○井伊直継により創建。京極高次の大津城を移築し、改造して建てられた。</p>	金亀城		
10	<p>天守築城1681年（天和元年） 天守の高さ約11m 望楼型・二重二階・複合式天守 ○中世山城が近世城郭に改修された城で、水谷勝宗の大改修により築かれた。近世城郭としては数少ない本格的な山城。標高350mの臥牛山の上に建つ。</p>	たかはし 高梁城		